

# ポーランド政治・経済・社会情勢

(2020年8月26日～2020年9月2日)

令和2年(2020年)9月4日

H	E	A	D	L	I	N	E	S
<b>政治</b> ホウオヴニャ氏による政治団体「ポーランド2050」の設立集会の開催 第二次世界大戦勃発81周年式典の開催 ポーランド国民の国防意識アンケート調査 ベラルーシへのポーランド製弾薬供給疑惑に対するブワシュチャク国防相発言 統合防空多国間演習 Astral Knight 2020 演習 ドイツ参謀長、アンジェイチャク統合参謀長と会談 早期警戒機(AWACS)がクラクフにてポーランド・米空軍共同演習を支援 プジダチ外務次官による駐ポーランド・ベラルーシ大使に対する抗議 ラウ外相のEU非公式会合(ギムニツヒ)への出席 モスバカー駐ポーランド米大使のポーランド国内のメディア改革に関する発言 アンジェイチャク統合参謀長、NATO軍事委員会議長への立候補を正式発表 領域防衛軍による学校及び幼稚園へのマスク・消毒液の配布 ベラルーシ、ポーランド国境付近において軍の機動演習を実施 モラヴィエツキ首相及びラウ外相のブレッド戦略フォーラムへの出席 外務省による駐ポーランド独大使の承認 軍人募集キャンペーン統括部長のインタビュー発言 ドイツからの戦後賠償額算定に関する報告書に関する発言 ラウ外相とレインサル・エストニア外相との電話会談 ラウ外相とクレーバ・ウクライナ外相との電話会談 モラヴィエツキ首相の欧州議員によるベラルーシ情勢に関する会合への参加 ベラルーシ軍の機動演習終了後の状況								【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります。問合せ先大使館領事部 電話26965005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。
<b>治安等</b> ドゥダ大統領、道路交通法改正案に署名 ワルシャワの下水処理システムの機能が停止 国家警察本部、夏休み期間中の交通事故件数などを発表 欧州人権裁判所、テロ容疑により拘束されているタジキスタン人の強制送還の停止を命令 ポーランドに対するサイバー攻撃が増加								
<b>経済</b> 2021年予算案 2020年第2四半期のGDP成長率 8月の購買担当者景気指数(PMI) ポーランド経済研究所による経済予測 水素開発関連動向 欧州委員会ポーランド南部の鉄道網への投資を承認 原子力関連動向 ポーランド鉱業グループ(PGG)関連動向 国営電力会社タウロンによる太陽光発電所の設置 再生可能エネルギーのシェア見通し								

## 大使館からのお知らせ

長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意

欧州でのテロ等に対する注意喚起

「たびレジ」への登録のお願い

新型コロナウイルス感染症に関する注意喚起

マイナンバーカード取得のお願い

年金受給者の現況届提出について

大使館広報文化センター開館時間

文化行事・大使館関連行事

在ポーランド日本国大使館

ul. Szwoleżerów 8、00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000 <http://www.pl.emb-japan.go.jp>

政 治

内 政

### ホウオヴニャ氏による政治団体「ポーランド2050」の設立集会の開催【8月29日】

29日、先の大統領選挙で第三位となったジャーナリストのホウオヴニャ氏は、ワルシャワにおいて、新たに結成した政治団体「ポーランド2050」(Polska 2050)の設立集会を開催した。同集会では、地方代表の任命等の組織構築に関する議論のほか、同団体のロゴやプログラム案の発表が行われた。ホウオヴニャ氏は、政策プログラムの内容として、不平等の防止、高齢者やホームレスに関する問題を挙げ、また、政府高官の給与引き上げの基準や政党助成金のあり方に関する提案を行っていと述べた。

### 第二次世界大戦勃発81周年式典の開催【9月1日】

1日、第二次世界大戦勃発81周年式典がヴェステルプラッテで開催され、ドゥダ大統領、ヴィテク下院議長、グロツキ上院議長をはじめ、閣僚や国会議員が多数出席した。ドゥダ大統領は、ヒトラー率いるドイツ軍はヴェステルプラッテとポーランド中部の小さな街であるヴィエルンをほぼ同時刻に攻撃し、寝静まっている街を爆撃して人々を殺害したとし、この場所で全ての犠牲者を追悼すると述べた。

同日、モラヴィエツキ首相はヴィエルンで開催された式典に出席した。同首相は、今日においてポーランドはナチス・ドイツとソ連の2つの全体主義レジームにより引き起こされた悲惨な戦争の記憶の守護者であり、ポーランド国民は第二次世界大戦に関する真実の守護者となっていると述べた。

外交・安全保障

### ポーランド国民の国防意識アンケート調査【8月12日】

8月12日、Defense24 及び IBRIS は、ポーランド国民の国防意識に関するアンケート調査結果を発表した。同発表によると、ポーランドが他国から攻撃を受けた場合にどのように行動するかとの質問に対し、約50%の回答者が、自分の親族を守る行動をする と回答し、約36%が軍又は準軍事組織に参加すると回答した。また、中・東欧諸国と比較するとポーランドが最も高い数値を示す結果となった。

### ベラルーシへのポーランド製弾薬供給疑惑に対するブワシュチャク国防相発言【8月13日】

8月13日、ブワシュチャク国防相は、ポーランド放送・Jedynka に出演し、ベラルーシにおける暴動鎮圧において使用された弾薬がポーランド製であったという疑惑に対して、「ポーランド政府はベラルーシへの弾薬輸出を許可していない」と完全に否定した。

### 統合防空多国間演習 Astral Knight 2020 演習【8月19日、24日】

8月18日～9月30日までの間、オルシュティン・マズーリ空港において、統合防空多国間演習(Astral Knight 2020)が実施されている。参加国軍は、米海軍兵士、エストニア・ラトビア・リトアニア・ポーランド・スウェーデン空軍兵士であり、東欧に展開する即応部隊であるNATO強化プレゼンス部隊(eFP)の行動に必要な統合された防空及び防空ミサイルの運用能力を確認することを焦点にした演習が行われる。また、ポーランドの国家サイバー安全保障センター(NCBC)が同演習を支援する。なお、同演習は、一般旅客機の飛行を妨げるものではない。

### ドイツ参謀長、アンジェイチャク統合参謀長と会談【8月19日】

8月19日、ドイツ参謀総長が、アンジェイチャク統合参謀長の招待に応じて統合参謀本部を訪問し、両参謀長による会談が行われた。同会談においては、

軍事分野における現在の課題及び脅威について議論が行われた。また、東欧の現況及び西アフリカの安全保障状況について意見交換が行われた。両参謀長の会談後、併せて、両軍参謀本部の幕僚間会合が行われた。

#### 早期警戒機(AWACS)がクラクフにてポーランド・米空軍共同演習を支援【8月21日】

8月21日、NATO所属の早期警戒機(AWACS)が、ワスクにおいて実施されたポーランドと米空軍の共同演習を支援するためクラクフに派遣された。F-16戦闘機を使用した同演習は、8月28日まで行われた。

#### プジダチ外務次官による駐ポーランド・ベラルーシ大使に対する抗議【8月27日】

27日、プジダチ外務次官は、駐ポーランド・ベラルーシ大使を外務省に召喚し、ルカシェンコ・ベラルーシ大統領の根拠なき発言について抗議した。同日、ルカシェンコ大統領は、ベラルーシに対する最高レベルでの外交戦争が行われており、ベラルーシが仮に解体すれば、ポーランド国境のグロノド地域はポーランドによって併合されるだろう、と述べていた。同日の記者会見において、プジダチ次官は、ルカシェンコ大統領の言いがかりは、ベラルーシ国民を「想像上の外敵」によって威圧することを目的していると述べ、ポーランドは、ベラルーシに対する敵対的意図はなく、二国間及び国際関係において、ベラルーシの独立及び領土保全を頻繁に確認してきた、と強調した。

#### ラウ外相のEU非公式会合(ギムニツヒ)への出席【8月27日及び28日】

27及び28日、ラウ外相は、ベルリンにおいて開催されたEU非公式外相会合(ギムニツヒ)に出席し、ベラルーシ情勢及びEU・トルコ関係について議論した。同外相は、ベラルーシ当局と体制転換を求める反対派との間で真の建設的な対話の確立が唯一の方法であると強調し、欧州安全保障協力機構(OSCE)が仲介の取組に関与すべきであるという考えを歓迎した。また、外相らは、ベラルーシ大統領選挙の運営と抗議運動者に対する武力行使及び抑圧の責任者に対して制裁を課すことについて政治的支持を表明した。ラウ外相は、ポレルEU外務・安全保障上級代表、ヴァールヘイ欧州委員(近隣政策・拡大担当)、V4諸国外相、デンマーク及びルーマニア外相とも会談した。

#### モスバカー駐ポーランド米大使のポーランド国内のメディア改革に関する発言【8月28日】

28日、モスバカー駐ポーランド米大使は、ツイッターにて、現在検討されているポーランド国内のメディア改革について言及し、同改革によって国営企

業と小さなメディアだけが残ることになり、ポーランド国民の表現の自由が損なわれるとして批判した。また、同大使は、メディア改革によって多様な意見が失われることになり、ポーランド国民にとって利益にならないと述べた。政府内では、外国メディアの占有率を20パーセントにまで制限する法案が浮上している。

#### アンジェイチャク統合参謀長、NATO軍事委員会議長への立候補を正式発表【8月28日】

8月28日、アンジェイチャク統合参謀長は、NATO軍事委員会議長への立候補を正式に表明した。ポーランド政府は、正式に同参謀長を同ポストに推薦した。NATO加盟各国参謀長による投票により決定され、結果は今年の9月に発表される予定である。選出された議長は、2021年夏に正式に就任することとなる。

#### 領域防衛軍による学校及び幼稚園へのマスク・消毒液の配布【8月28日】

8月28日、領域防衛軍は、42,000リットルの消毒液と数千枚のマスクを各地の学校及び幼稚園へ配布した。また、近日中に同軍による学校建物の除染及び教員へのウイルス感染対策に関する教育を行うなどの支援が行われる。

#### ベラルーシ、ポーランド国境付近において軍の機動演習を実施【8月28日】

8月28日から31日、ベラルーシ軍は、即応能力及び態勢の点検等を行うため、グロノド地域(ベラルーシ西部、リトアニアとポーランドの国境付近)において機動演習を行うことを発表した。ルカシェンコ大統領は、同地域方面の部隊の増強を命じ、ポーランド及びリトアニアを含むNATO諸国からの挑発の脅威に対応すると主張している。

#### モラヴィエツキ首相及びラウ外相のブレッド戦略フォーラムへの出席【8月31日】

31日、モラヴィエツキ首相及びラウ外相は、スロベニアで開催されたブレッド戦略フォーラムに出席し、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)及びブレグジット後のEU等について議論した。モラヴィエツキ首相は、新型コロナウイルス感染症のような課題に対してEUが主要な役割を果たすために、EUが連帯することが重要であると強調した。また、同首相は、独立自主管理労働組合「連帯」の創設40周年についても言及し、共産主義体制及び東西冷戦の終了へと導いたこの連帯の遺伝子がポーランドには受け継がれており、新型コロナウイルス感染症に苦しむ国々や東方パートナーシップ及び西バルカン諸国といった国々に対する支援を継続していく、と述べた。また、同首相は、ヤンシャ・スロベニア首相とも会談し、新型コロナウイルス感染症、経済関係、三海域イ

ニシアティブ、ベラルーシ情勢について議論した。この他、ラウ外相は、ロガル・スロベニア外相、シーヤルートー・ハンガリー外相及びペトシーチェク・チェコ外相とそれぞれ二国間会談を実施した。

#### 外務省による駐ポーランド独大使の承認【8月31日】

31日、外務省は、アルント＝フライターク＝フォン・ローリングホーフエン大使を駐ポーランド独大使として承認したと発表した。同大使は、本年6月以来、約3ヶ月の間、大使の任国赴任に必要な接受国の同意(アグレマン)が得られない状態であった。シンコフスキ・ヴェル・センク外務副大臣は、新独大使の課題について言及し、歴史問題はポーランド独関係にとって最も敏感な問題であり、この問題の解決には長年にわたる忍耐強く誠実な対話が必要である、と述べた。また、同副大臣は、1939年のドイツによる侵略の最初の被害者であり、第二次世界大戦によって最も影響を受けた国であるポーランドは、ドイツとその代表である大使が、両国の和解のために真実を直視し、無条件に罪を告白する用意があることを期待する、と述べた。

#### 軍人募集キャンペーン統括部長のインタビュー発言【8月31日】

「ポーランド軍兵士になろう」キャンペーンを推進するデンプチャック准将がガゼタ・ポルスカのインタビューに対して、国民の国防意識、学生に対する軍事教育及び軍人募集システムの改善について次のように答えた。国民の国防意識については、ポーランド人に対するあるアンケート調査において、回答者の26%がどんな脅威に対してもポーランドを防衛することに積極的に従事すると答えている。一方、ドイツはたったの9%であった。学生に対する軍事教育については、認定された軍事講座を受ける小学生(pupils)、アカデミック・リーグ(学校に導入された軍事教育講座)学生(students)やセカンダリースクールの学生(15歳～19歳)に対する教育を継続しており、8,000以上の小学生(pupils)と約10,000人の学生(students)が同取り組みに参加している。また、新たな軍人募集システムは、軍に入隊するための方法を簡素化するために作られたものである。

#### ドイツからの戦後賠償額算定に関する報告書に関する発言【9月1日】

1日、ムラルチク下院議員は、第二次世界大戦勃発記念の9月1日に発表することが予定されていたドイツからの戦後賠償額算定に関する報告書について、現在ドイツ語及び英語に翻訳中であり、近々公開する予定であると発表し、今会期の下院でポーラ

ンド独間の賠償問題を解決できることを望む、と述べた。同議員は、前会期の2017年9月より戦後賠償額算定に関する議会グループの代表を務めている。

#### ラウ外相とレインサル・エストニア外相との電話会談【9月2日】

2日、ラウ外相は、レインサル・エストニア外相と電話会談を行い、ベラルーシ情勢に関する国連安保理非公式ビデオ会合の開催及び二国間関係について議論した。両外相が参加する同ビデオ会合は、本年から2年間にわたって国連安保理非常任理事国を務めるエストニアの主導により開催される予定である。

#### ラウ外相とクレーバ・ウクライナ外相との電話会談【9月2日】

2日、ラウ外相は、クレーバ・ウクライナ外相と電話会談を行い、二国間関係、ポーランド、ウクライナ及びリトアニアの協力枠組であるルブリン・トライアングルにおける協力、ウクライナ東部ドンバス地域における紛争について議論した。また両外相は、ウクライナにおけるポーランド語学校の地位やフタ・ピエニアツカ村に書かれた第二次世界大戦中の抵抗組織である国内軍の物議を醸すスローガンを含むモニュメントの問題についても議論した。

#### モラヴィエツキ首相の欧州議員によるベラルーシ情勢に関する会合への参加【9月2日】

2日、モラヴィエツキ首相は、欧州議会議員の会合にオンラインで参加し、ベラルーシ情勢について議論した。同会合は、先般、モラヴィエツキ首相が開催した政府と野党の代表による協議の結果として実現したもので、ポーランド選出の欧州議員が党派を問わず出席した。同首相は、ベラルーシの民主的変化を求める市民社会を支援するポーランドの取組について説明し、欧州議員がこの問題について積極的であることを求めた。また、同首相は、政治的信条にとらわれずに実行されたこれまでの取組について謝意を示した。ポーランド選出の欧州議員による会合は、2004年のEU加盟以来断続的に行われていたが、国内の政治的対立を要因として近年は停滞していた。

#### ベラルーシ軍の機動演習終了後の状況【9月2日】

8月31日、グロノド地域(ベラルーシ西部、リトアニアとポーランドの国境付近)において行われていたベラルーシ軍による機動演習は終了したものの、9月2日、同地域には、2個のロケット旅団が即応態勢を維持したまま展開されている。ルカシェンコ大統領は、ベラルーシ西部の国境閉鎖を探っているところ、同地域の国境地域に追加部隊が展開される可能性は排除できない。

ドゥダ大統領、道路交通法改正案に署名【8月27日】

ドゥダ大統領は、自動車運転中の運転免許証携帯義務を免除することなどを規定した道路交通法改正案に署名した。今回の改正について、大統領府は、行政手続きの簡素化、地方公共団体への業務委託の軽減、市民が強いられるコストの軽減であると強調した。今回の改正により、自動車所有者は、一時滞在先で自動車登録を一時的に行えるようになるほか、同滞在先で車の購入なども可能になる。また、ポーランドで登録した場合には、当該自動車の所有者であれば、現在のナンバープレートを使用し続けることも可能になる。改正法は、公式発表の3か月後から有効となるが、技術的問題を有する関連規則については、所管大臣による公式アナウンスが発表された後に効力を有することとなる。

ワルシャワの下水処理システムの機能が停止【8月29日】

チャスコフスキ・ワルシャワ市長はツイッター上で、ワルシャワ・ツァイキの下水処理場でパイプの接続に問題が発生し、ワルシャワの汚水処理システムの機能が停止したとツイートした。また、未処理の汚水がビスワ川に直接排出することになったが、これは都市部が洪水の被害に遭わないよう緊急措置として設計されたものであると説明した。市長によると、飲み水に対する影響はないとのことであった。

国家警察本部が夏休み期間中の交通事故件数などを発表【8月31日】

国家警察本部が明らかにしたところによると、夏休み期間中に発生した交通事故は5,387件で、前年同期比13%減であった。また、交通事故による死者の数は482人で前年同期比18%減、負傷者の数は6,242人で同15%減であった。他方、同期中に時速50キロ以上の速度超過で捕まった人は12,570人で前年同期の10,252人を上回ったほか、飲酒運転で捕まった人は22,030人であった。

欧州人権裁判所がテロ容疑により拘束されているタジキスタン人の強制送還の停止を命令【31日】

当地ポータルサイト「Onet.pl」によると、欧州人権裁判所は、本年5月に公安庁(ABW)により、「イスラム国」の活動を支援した疑いで拘束され、国境警備隊の外国人監視センターに収監されているタジキスタン人に対する強制送還の停止を命令したとのことである。国際法上では、拷問される可能性がある国への追放は禁止されているところ、ある国際機関は、過激な活動を行った疑いのある人物はタジキスタンの刑務所で拷問を受ける危険があると報告している。ポーランド政府は今後、欧州人権裁判所の裁定に従う必要が生じる。

ポーランドに対するサイバー攻撃が増加【9月1日】

公安庁(ABW)傘下のサイバー事件即応チーム(CSIRT GOV(注))は「2019年のポーランドにおけるサイバーセキュリティに関する報告書」を公表し、2019年の間、CSIRT GOVで確認されたサイバー攻撃の件数は12,405件で、前年比約6,000件増となり、潜在的なサイバー攻撃の件数は226,914件(2018年は31,865件)であったと明らかにした(注2018年8月に発効したサイバーセキュリティ法にのっとり、政府機関、公的機関、重要インフラのサイバーセキュリティ対策を担当)。サイバー攻撃件数が昨年比べて大幅に増加した理由について、CSIRT GOVが運用するサイバー攻撃に対する早期警戒システムが効果的に作用したためであると指摘した。事案の種別で見ると、件数が多い順に、ウイルスによるもの(7,219件で全体の約58%)、スキミング(1,878件)、フィッシング(1,178件)、ぜい弱性攻撃(1,016件)、サービスの利用不能に関するもの(290件)、スパム(210)となっている。また、主な攻撃元として観測された国は、多い順にロシア(28%)、米国(13%)、オランダ(12%)、ポーランド(10%)、中国(8%)であった。

## 経 済

## 経済政策

2021年予算案【8月27日】

27日、コシチンスキ財務大臣は、2021年予算案を発表した。同予算案では、歳入4,037億ズロチ(約916億ユーロ)、歳出4,860億ズロチ(約1,103億ユーロ)で、823億ズロチ(約187億ユーロ)の財政赤字を見込んでいる。EUの用いる算出方法に基づくと、2021年の財政赤字の対GDP比は

6%、公的債務残高の対GDP比は64.7%になるという。また、政府は、2021年の税収について、付加価値税(VAT)から1,810億ズロチ、法人税から369億ズロチ、個人所得税から681億ズロチを見込んでいるほか、5G周波数帯の販売から19億ズロチ、小売税から15億ズロチ、中央銀行の利益から13億ズロチを見込んでいる。

## マクロ経済動向・統計

2020年第2四半期のGDP成長率【8月31日】

中央統計局(GUS)によると、2020年第2四半期

のGDP成長率は対前年同期比マイナス8.2%となった(第1四半期は対前年同期比2%増)。投資(対前年同期比10.9%減)及び国内需要(対前年同期比9.5%減)の落ち込みが主な要因となっており、輸入及び輸出もそれぞれ対前年同期比18.4%減、14.3%減となった。他方で、7月の小売販売は対前年同月比3%増と回復傾向にあり、専門家は8月も同様の傾向が続くと見ている。

#### 8月の購買担当者景気指数(PMI)【9月1日】

IHS Markitによると、8月の購買担当者景気指数(PMI)は50.6ポイントと、前月の52.8ポイントから低下した。景気の拡大・縮小の分岐点である50ポイントを上回ったものの、専門家が予想していた52.9ポイントを下回った。ポーランドの産業部門の状況は改善傾向にあるものの、7月と比較するとそのペー

スは緩やかになっているという。

#### ポーランド経済研究所による経済予測【9月2日】

ポーランド経済研究所(PIE)は、最新の報告書において、ポーランドの2020年のGDP成長率について、当初予測のマイナス4.2%からマイナス3.1%に予測を引き上げた。同研究所の専門家は、第2四半期のGDP成長率が対前年同期比マイナス8.2%となったことについては同研究所の予測の近似値であったとし、月別のデータを見ると、第3四半期はポーランド及びEU諸国の両方で予想を上回るペースで経済回復が進むと見られると分析。第3四半期及び第4四半期のGDP成長率はそれぞれ対前年同期比マイナス3.5%、マイナス2.5%となり、2020年全期ではマイナス3.1%になるとの予測を示した。

### ポーランド産業動向

#### 水素開発関連動向【8月28日】

トヨタモーターポーランドと国営ガス・石油会社PiGNiGはポーランドにおける水素技術開発に関する協力協定に署名した。同協定には、ワルシャワのヴォラ地区に建設される試験的な水素補給ステーションも含まれている。同社は今年5月に、再生可能エネルギー源を利用した「グリーン水素」を含む水素製造、水素の貯蔵・分配等を対象とした研究プログラムを発表している。同プログラムには水素補給ステーションの運営も含まれている。同社は既に同ステーションの設計・建設に関して、ポーランド及び英国のコンソーシアムと契約を締結している。

#### 欧州委員会ポーランド南部の鉄道網への投資を承認【8月28日】

欧州委員会は記者会見において、ポーランド南部のスカビナー-ザコパネ鉄道線の約117 kmを近代化するために、結束基金から2億3400万ユーロを超える投資を承認したと発表した。また、安全で信頼性の高い列車による通勤を推奨するとともに、車通勤の減少に伴い温室効果ガスが削減されると付け加えた。当該プロジェクトは2024年から開始される予定で、これによりザコパネ〜クラコフ間の鉄道輸送の品質と安全性が向上される。

### エネルギー・環境

#### 原子力関連動向【8月27日】

改訂された原子力計画案では、原子力に関する投資を担当する特別目的会社PGE EJ1の株式は100%国庫に保有されることとなっている(現在は70%をPGE、Enea、Tauron、KGHMが10%ずつ保有)。本買収に関しては、2021年に実施される見込みとなっている。なお、気候省は更新された原子力計画は今年の第4半期に承認されると見ている。

資がもはや実行可能でないと認めた。8月初めにポーランド開発基金会長は、必要な条件を満たし、収益性の回復のため信頼できる計画を提示している限り、鉱山会社に対する財政支援を提供することを保証した。

#### ポーランド鉱業グループ(PGG)関連動向【8月30日】

サシン副首相兼国有財産大臣は、ポーランド鉱業グループ(PGG)に対し、ポーランド開発基金(PFR)による多額の資金援助を取得しようとしていると発表した。また、石炭生産終了までの期間を延長するために何でもすると述べた。他方、欧州におけるグリーンエネルギーのための石炭排除の取り組みを説明し、石炭ベースのエネルギー部門への投

#### 国営電力会社タウロンによる太陽光発電所の設置【8月31日】

国営電力会社タウロンはポーランド西部のヤヴォジュノへの5MWの太陽光発電所の建設を開始した。これは合計で100MW超の容量の太陽光発電所の設置を目指す同社の“Tauron PV”プログラムの一環である。同発電所はサッカー競技場3つ分に相当する敷地に12,000の太陽光パネルを設置するものであり、来年準備が完了すると見込まれている。

#### 再生可能エネルギーのシェア見通し【9月2日】

ジスカ気候副大臣は、2020年の再生可能エネルギーのシェアについてパンデミックの第二波の影響で少し落ち込む可能性もあり、13%～14%になる見込みであると述べた。ポーランドは2020年までに再生可能エネルギーのシェアを15%にすることを目標としている。これを達成できなくても

ポーランドは欧州委員会から評価されており、制裁を受けないだろうと述べた。また、15%の目標達成についてCOVID-19の影響で延期された再生可能エネルギー関係の投資が実施されれば、2021年には達成する可能性が高いとしている。

## 大使館からのお知らせ

### 長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意

最近、ドイツ以外のシェンゲン協定域内国に長期滞在を目的と申告した邦人が、経由地であるドイツでシェンゲン協定域内への入国審査を受ける際に入国管理当局から(1)最終滞在予定国の有効な滞在許可証、(2)ドイツ滞在法第4条のカテゴリーD査証(ナショナル・ビザ)、又は(3)同D査証に相当する滞在予定国の長期滞在査証の提示を求められ、これを所持していないために入国を拒否される事例が発生しております。

このため、現地に到着してからの滞在許可証取得を予定し、最初にドイツ入国を予定している場合には、注意が必要です。

ドイツ以外の国では同様の事例は発生しておりませんが、シェンゲン協定域内国での長期滞在を目的に渡航する場合には、滞在国及び経由国の入国審査、滞在許可制度の詳細につき、各国の政府観光局、我が国に存在する各国の大使館等に問い合わせるなどし、事前に確認するようにしてください。詳しくは下記リンク先を御覧ください。

[http://www.anzen.mofa.go.jp/c\\_info/oshirase\\_schengen\\_2.html](http://www.anzen.mofa.go.jp/c_info/oshirase_schengen_2.html)

(注):シェンゲン協定とは、シェンゲン協定加盟国の域外から同加盟国域内に入る場合、最初に入域する国において入国審査が行われ、その後のシェンゲン協定域内の移動においては原則として入国審査が行われないといった協定です。

○シェンゲン協定域内国(2020年6月現在):26か国

アイスランド、イタリア、エストニア、オーストリア、オランダ、ギリシャ、スイス、スウェーデン、スペイン、スロバキア、スロベニア、チェコ、デンマーク、ドイツ、ノルウェー、ハンガリー、フィンランド、フランス、ベルギー、ポーランド、ポルトガル、マルタ、ラトビア、リトアニア、ルクセンブルク、リヒテンシュタイン

### 欧州でのテロ等に対する注意喚起

欧州では、「イラク・レバントのイスラム国」(ISIL)の台頭以降、一般市民等のソフトターゲットを標的としたテロが相次いで発生しており、今後も更なるテロの発生が懸念されます。

観光客やイベント等を標的とするテロに警戒する必要があることに加え、イベント等の警備のため手薄となった他の都市でのテロの実行も懸念されます。以上を踏まえ、以下のテロ対策をお願いします。

(1)外務省が発出する海外安全情報及び現地報道等で最新の治安情勢等の関連情報の入手に努めるとともに、日頃から注意を怠らないようにする。

(2)以下の場所がテロの標的となりやすいことを十分認識する。

観光施設、観光地周辺の道路、記念日・祝祭日等のイベント会場、レストラン、ホテル、ショッピングモール、スーパーマーケット、ナイトクラブ、映画館等人が多く集まる施設、教会・モスク等宗教関係施設、公共交通機関、政府関連施設(特に軍、警察、治安関係施設)等。

(3)上記(2)の場所を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる、できるだけ滞在時間を短くする等の注意に加え、その場の状況に応じた安全確保に十分注意を払う。

(4)現地当局の指示があればそれに従う。特にテロに遭遇してしまった場合には、警察官等の指示をよく聞き冷静に行動するように努める。

(5)不測の事態の発生を念頭に、訪問先の出入口や非常口、避難の際の経路、隠れられる場所等についてあらかじめ入念に確認する。

詳しくは下記リンク先を御覧ください。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

### 「たびレジ」への登録のお願い

3か月以上海外に滞在する方は在留届の提出を、3か月未満の場合は「たびレジ」への登録を必ず実施して

ください。渡航先の最新安全情報や、緊急時の大使館又は総領事館からの連絡を受け取ることができます。また、家族や友人、職場等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようにしてください。

下記リンク先から「たびレジ」に登録することができます。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>

### **新型コロナウイルス感染症に関する注意喚起**

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染が世界各地で報告されており、感染が報告された国々に渡航していた方を介して、感染がさらに拡大する可能性があります。

ポーランドでも3月4日に国内で初の同ウイルス感染者が認められて以降、感染者の増加が続いており、3月20日には、感染事態が宣言されました。

9月1日には学校が再開しましたが、幼稚園、保育園の活動に制限があります(各園で対応が異なりますので、詳細は幼稚園、保育園に個別に御照会ください)。また、公共交通機関は、定員の半数で運行、商店等では、人と人の間に1.5メートル以上の距離を取ることとされ、公共の場では、屋外かつ1.5メートルの距離を確保できる場合を除き、マスク、スカーフ、ショールなどにより口及び鼻を覆う義務があります。一部の地域においては、屋外であってもマスク等を着用する義務が生じています。マスク等で口及び鼻を覆う義務は、行政機関、サービス等を提供する店及び職場でも適用されるため、御注意ください。

最新情報を収集すると共に、手洗いうがいの励行、咳や発熱が認められる人に安易に近づかない等、感染予防に努めてください。

また、同ウイルスの感染拡大に伴い、東洋人に対する風評被害が発生しているとの情報もあるところ、ポーランド国内で被害に遭われた場合は、発生場所、日時等を含む可能な限り詳細な情報を当館領事部に提供いただくようお願いいたします。

外務省は本件に関し、広域情報を発出いたしました。在留届を提出した方及び「たびレジ」へ登録している方には既にメールが配信されております。最新情報は、下記リンク先で御確認ください。

<https://www.anzen.mofa.go.jp/>

### **領事部連絡先**

Eメール: [cons@wr.mofa.go.jp](mailto:cons@wr.mofa.go.jp)

電話番号: 22-696-5005(受付時間: 月～金曜日 9:00～12:30、13:30～17:00)

### **マイナンバーカード取得のお願い**

マイナンバーカードは、安全・安心で利便性の高いデジタル社会の基盤で、多様化・拡大する様々な手続き・サービスを個人が広く利用できるようにするために不可欠な本人確認ツールです。

マイナンバーカードは、マイナンバーが記載された顔写真入り・ICチップ付きのカードで、役所に行かなくても日本国内のコンビニエンスストアで住民票の写しや課税証明書など各種の証明書を取得できるなど様々な利点があり、2021年3月からは健康保険証としても使えるようになる予定です。

現時点では、日本国内に住民登録のない海外居住者は、マイナンバーカード及び電子証明書を取得・利用することはできませんが、令和6年中に海外居住者もマイナンバーカード等の利用・取得・更新ができるようになる見込みで、現在、在外公館におけるマイナンバーカードの交付等の方法も検討されています。

マイナンバーカードの交付手数料は無料です。今後は、市区町村の申請窓口が混み合うことが予想されますので、帰国後速やかに取得申請を行って頂くよう、お願い申し上げます。

### **年金受給者の現況届提出について**

海外に居住している年金受給者は、年金の支給を引き続き受けるために、毎年、現況届に在留証明書等の生存確認ができる書類を添えて、日本年金機構(以下「機構」という。)へ提出いただく必要があります。しかし、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響によって郵便の受付が停止されている海外の国・地域に居住する年金受給者については、提出期限までに現況届を機構に提出することや機構から現況届様式を送付することができなくなっています。

このため、郵便の受付が停止されている海外の国・地域に居住する年金受給者(提出期限が令和2年2月末日以降である者)については、それぞれの国・地域において郵便の受付が再開された3か月後までの間は、現況届の提出がなくても年金の支払いを継続する取扱いになりました。詳細については、下記リンク先を御確認いただくか、日本年金機構のねんきんダイヤルにお問い合わせください。

ねんきんダイヤル: (81)3-6700-1165

<https://www.nenkin.go.jp/oshirase/taisetsu/2020/202006/2020061001.html>

**【お知らせ】大使館広報文化センターの入館再開**

平日 9:00 - 12:30、13:30 - 17:00

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、ご来館の際には所定の衛生条件に従っていただきますようお願い申し上げます。

問合せ先：在ポーランド日本大使館広報文化センター（電話：22-584-73 00、Eメール：info-cul@wr.mofa.go.jp、住所：Al. Ujazdowskie 51、Warszawa）

## 文化行事・大使館関連行事

**【開催中】「日本に恋して・スウプスク市の花見」【8月15日(土)～9月19日(土)】**

スウプスクにて、スウプスク文化センター主催による『日本に恋して・スウプスク市の花見』が開催されます。日本映画の上映、日本文化と旅行に関する講演、様々なデモンストレーション（武道やお茶など）とワークショップ（料理や合気など）が予定されています。映画の上映以外、入場は無料です。

主催：スウプスク文化センター

場所：スウプスク市のスウプスク文化センター、スウプスク文化センターの劇場「Rondo」及び喫茶店「Herbaciarnia w Spichlerzu」など

詳細：<http://www.sok.slupsk.pl/index.php/pracownie/teatr-main/3831-zakochaj-sie-w-japonii-slupskie-hanami>**【予定】第3回日本のゲームフェスティバル【9月5日(土) 12:00～18:00】**

ワルシャワ市にて、日本の大衆文化愛好家協会「アニマツリ」主催による『第3回日本のゲームフェスティバル』が開催されます。碁、麻雀、花札、剣玉などのワークショップが予定されています。

主催：日本の大衆文化愛好家協会「アニマツリ」

開催場所：ワルシャワ、Fabryczna 1/3

詳細：<https://www.facebook.com/events/2696075157293258/>**【予定】第17回ヴィエルコポルスカ地方国際柔道選手権【9月12日(土)～13日(日)】**

ポズナン市にて、学生スポーツクラブ「ギムナズヨン」による『第17回ヴィエルコポルスカ地方国際柔道選手権』が開催されます。入場は無料です。

主催：学生スポーツクラブ「ギムナズヨン」

開催場所：ポズナン市、ポズナン大学のスポーツホール(Hala sportowa UAM、ul. Zagajnikowa 9)

詳細：<http://www.wmtj.pl/>**【予定】国際公演「紅い平静」(「A Vermilion Calm」)【9月19日(土)～9月20日(日)】**

ヴロツワフにて、ワルシャワ演劇団体による国際公演「紅い平静」(「A Vermilion Calm」)が開催されます。日本人作家(フジエ・ケイコ)の作品の室内楽オペラの初演。入場は有料です。

主催：ワルシャワ演劇団体

場所：ヴロツワフ市、イエジー・グロトフスキ・インチュート

詳細：<http://grotowski-institute.art.pl/vermilion-calm/>**【予定】ヨーロッパ子供伝統空手道選手権・ヴロツワフ2020【9月25日(金)～27日(日)】**

ヴロツワフにて、ポーランド伝統空手協会による『ヨーロッパ子供伝統空手道選手権』が開催されます。入場は無料です。

主催：ポーランド伝統空手協会

開催場所：ヴロツワフ市、演芸・スポーツホール「オルピタ」

本資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

#### **皆様からの情報提供をお待ちしています**

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やお勧めのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまで御連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますので御了承ください。)

#### **【お問い合わせ・配信登録】**

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先Eメールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のEメールアドレスまで御連絡ください。大使館ウェブサイト([http://www.pl.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm))も併せて御覧ください。

本資料に関する問い合わせ E メールアドレス([newsml@wr.mofa.go.jp](mailto:newsml@wr.mofa.go.jp))